



医療 介護 福祉の
シゴトとサービス

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会
東京都高齢者福祉施設協議会



特別養護老人ホームの

介護現場で 輝く人々たち

東京都内の高齢者福祉施設でつくる東京都高齢者福祉施設協議会では、さまざまな職種の人々が連携してよりよい福祉と介護の提供にまい進しています。本シリーズは今年度6回の掲載を通じて、現場の魅力をお伝えします。今回は「特別養護老人ホーム」で働く人々のメッセージを紹介。次回は7月中旬の掲載を予定しています。

INTERVIEW インタビュー 介護現場を支えるスタッフに介護職の魅力を聞きました。

東京都の若手介護職員が中心となって活動するチーム、それが「東京ケアリーダーズ」です。自分たちの言葉で「介護の仕事の魅力」を伝えることを目的に、さまざまな活動に取り組んでいます。今回は田名部さん、丸山さん、照喜名さんの3人に登場いただきました。また、現場のスタッフを支える管理者を代表して片桐さんに介護現場のマネジメントについて聞きました。



田名部 彩香さん
介護職員



福祉系の高校を卒業し、昨年就職しました。介護職を志したのは、ヘレン・ケラーの能力を引き出し生涯を支えたアン・サリヴァンの逸話に感銘を受け、人を支える職業に就きたいと思ったからです。

就職して最初に感じたのは、介護の仕事が想像よりも楽しいということです。高齢者の介助は緊張感のある堅い仕事と考えていましたが、実際に入所者と接するとフレンドリーで温かい雰囲気でした。入所者の方と散歩に出かけることが一番好きで、外出時の楽しそうな表情を見ると嬉しくなります。

反面、つらいこともあります。特養ではしばしば死に直面しますが、先日担当していた入所者の方が亡くなり、とても悲しく思いました。死に対しては、その最期をどう過

ごして頂くのが大切です。亡くなる直前に誕生日会を企画し、お祝いのデザートを召し上がった際に喜ばれたことが、人生の最期の彩りの一つとなっていたことを願います。

まだ自分から入所者や同僚に声をかけることや、入所者の気持ちや希望を察する力が足りないと感じています。相手のことを知るために、積極的にになれるよう成長していきたいと思っています。

東京ケアリーダーズの活動では八王子介護フェアに出演し、参加者の応援に励まされました。また、熱意のあるメンバーが揃っているのもとても勉強になります。これからどんな介護が求められるか、どうしたら介護職が魅力的なものに映るか議論を重ねて活動し、私自身も成長して介護の仕事の楽しさを伝えていきたいと思っています。



丸山 華奈さん
ユニットリーダー



当施設の開設時に入職して4年目になります。介護の仕事ではプライベートの充実が仕事にも生きると感じています。最近仕事もプライベートも充実しており、この冬は趣味のスノーボードは週に2回。同僚や友人とも毎日のように飲みに行き、とても楽しい日々を送っています。ご入居の方と自分のプライベートの話もしますが、祖父、祖母のように聞いてくれて、仕事の中でお互いに楽しめていると感じます。恋愛で困った時は親身に話を聞いてもらえて、とても励まされました。私の旅行の話からご自身の過去の体験を思い出され、元気を取り戻されることもあります。

介護職はまじめで堅く、大変な仕事というイメージが世間にはありますが、東京ケアリーダーズではそれを変えていきたいです。私は

金髪にジーンズで仕事をしていたこともあり、介護職だと言うと驚かれることもありましたが、そんな現状を変えたいです。もちろん、介護の仕事を全うすることや、責任感、倫理感が大前提です。

将来はケアマネジャー等の資格をとり、キャリアアップをすることが目標です。また、最近ユニットリーダーを任されましたが、立場があるからという理由ではなく人として慕われ頼られる存在でありたいと思います。そのために、何事も一人で決めず、常にメンバーに問いかけてよりよい介護をつくります。また、内外の研修に積極的に参加し、出来ることにはすべて挑戦します。

介護は同じご入居の方でも毎日変化があり、常に新しいその方らしさを発見できる仕事です。新しいことに挑戦を続け、よりよい介護をつくっていききたいと思っています。

社会福祉法人 一誠会
偕楽園ホーム

家庭的な雰囲気でき、できるだけ自由でその人らしい生活を送れる介護を提供しています。地域交流会や介護予防教室など、地域に向けた事業開催に力を入れております。行政、各団体と連携して災害時の介護体制の協定も策定しました。ホーム内では多数の生き物が一緒に暮らしており、アニマルセラピーも行っています。

〒192-0005 八王子市宮下町983
TEL:042-691-2830
HP:<http://kairakuenhome.or.jp>

社会福祉法人 太陽会
わたしの家 府中

「介護が必要になったときに引越す家」をコンセプトに、入居者とスタッフが家族のようにつながれる施設です。決められた時間に食事、入浴を行うなどの一斉介護を設定せず、入居者一人ひとりのご希望や状態に合わせた個別支援、自己決定権を尊重した介護を提供しています。

〒183-0026 府中市南町6-60-3
TEL:042-360-8655
HP:<https://sites.google.com/site/watashinoiefuchu/>



照喜名 竜彦さん
リーダー



入職して7年になります。幼少期に祖父と過ごすことが多く、高齢者のための仕事でいたいと考え介護職を選びました。現在はリーダーとして介護業務、スタッフの指導、教育、ケアマネジャー業務を並行して行っています。

介護、福祉分野のスペシャリストとしてあらゆる場面でさまざまな視点、考え方をもって高齢者を支えることが目標で、介護福祉士、社会福祉士、ケアマネジャーの資格を保有しています。介護福祉士の生活や人の身体、精神の視点、社会福祉士の環境づくりの視点、ケアマネジャーの現状と理想を鑑みて人生を考える視点を組み合わせることで、総合的に入所者の方のケアができます。また、ケアマネジャーの業務では、入所者の方の声や家族の想いを伺いなが

ら理想を実現する計画を立てることに、介護現場経験を生かしています。

スタッフの指導、教育については、一人ひとり技術、性格、話し方、動き方が異なるので、その人に合わせた指導をするよう心がけています。モチベーションを上げるためのコーチング技術や褒め方、励まし方などを日々勉強しています。

東京ケアリーダーズでは、文京区での介護イベントにて介護の魅力を話す機会を頂きましたが、慣れない場面に緊張して表情が硬くなってしまい、人にものを伝えることの難しさを痛感しました。反省を生かしてプレゼンの技術や聞き手からの見られ方など勉強しており、今後の活動に生かしていきます。また、学生や一般の方が参加されるイベントでは色々な方のお話や思いを聞いて勉強し、発信していきたいと思っています。

社会福祉法人 泉陽会
新町光陽苑

地域とのつながりや交流を大切にしており、毎年納涼祭や秋祭りなどのイベントを開催しています。模擬店やアトラクションなどは町内会やボランティアの方々と連携して実施しています。地域の保育園や小中学校との交流などもしており、開かれた施設としてあたたかみのある街づくりに取り組んでいます。

〒114-0012 北区田端新町2-27-16
TEL:03-5855-1185
HP:<http://www.timelyhit.ne.jp/senyoukai/>



片桐 恵子さん
施設サービス部 介護課課長



介護課長として5つのユニットの運営統括、介護人材の確保、育成、定着を主な仕事としています。運営統括の具体的な内容はユニットの人員配置、人事考課、環境整備、事故に対するリスクマネジメントなどです。介護人材の確保、育成、定着については、就職フェアへの参加、学校やハローワークへの訪問、面接、採用後の研修計画策定と実施、定期的な面談と指導を行っています。

採用時には、応募者が「人との関わりが好きなかどうか」を重要視しています。介護に最も必要な資質だからです。技術や知識は後からついてきます。育成では、コミュニケーション能力と観察力を磨くことに力を入れています。入所者、ご家族のケアにその専門性が求められるからです。サービス

の質を向上し、職員を定着させるためには、仕事へのモチベーションを上げることが不可欠で、専門的なケアを身につけることもそのひとつです。食事、入浴、排泄の三大ケアに加えて、看取りケア、認知症ケアなどです。特に、看取りは入所者の人生の最終ステージを飾る大事な仕事です。喪失感を伴い、つらいことも少なくないですが、介護士としてプライドを持てる専門性のある仕事です。認知症ケアでは認知症の認定看護師とともに困難ケースに対応しています。そして、職員がいきいきと働ける場として勤務体制の見直し、随時の会議時間の調整、残業時間の削減にも配慮が欠かせません。

今後も、介護職員のコミュニケーション能力と観察力を磨き、専門性を育める環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。

社会福祉法人 大三島育徳会
博水の郷

当法人の理念は「地域に根差した社会福祉」です。働きづらい方への就労支援、地元町会、消防署との合同災害訓練、認知症カフェの立ち上げ、運営支援、団体の見守りパトロールなど、地域におけるさまざまな公益的な取り組みを行っています。今後も介護の質の向上に努めるとともに、相談にこられない、電話をかけられないなどの声なき声をすくい上げ、私たちから出向いてニーズに応えていきます。

〒157-0077 世田谷区鎌田3-16-6
TEL : 03-5491-0340
HP : <http://www.oomishima.jp>

東京都高齢者福祉施設協議会とは？

東京都高齢者福祉施設協議会は、社会福祉法人東京都社会福祉協議会（東社協）の業種別部会連絡協議会に属する部会の一つとして、東京都内の特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、デイサービスセンターを会員とする組織です（会員数 1,200 施設・事業所）。東京の高齢者福祉の発展と、福祉サービスの質の向上を目指し、業種別、職種別、テーマ別による委員会活動をおとし、研修会の企画や調査研究、提言活動、ネットワークづくりに取り組んでいます。



東京都高齢者福祉施設協議会
マスコットキャラクター
「アクティブル」

高齢者福祉のあり方を考える シンポジウムを開催します。

大都市東京の介護と暮らしを守る都民フォーラム

高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みが進んでいます。一方、社会的に孤立した高齢者の増加や、高齢者福祉施設における深刻な介護人材不足など、解決が急がれる課題が存在しています。これからの高齢者福祉、介護のあり方をめぐる議論を通して、大都市東京の介護と暮らしを一緒に考えましょう。

【宣言】東京の高齢者福祉施設は行動します
【シンポジウム】都民の介護や暮らしを守るために ～ストップ・ザ・介護崩壊～
(シンポジストとして国会議員に登壇依頼中)

【日時】平成29年5月23日(火) 15時～17時(14時30分開場)

【会場】イノホール(千代田区内幸町2-1-1)

・東京メトロ 日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅 C4出口直結 ・東京メトロ 丸の内線「霞ヶ関」駅 B2出口 徒歩5分
・東京メトロ 銀座線「虎ノ門」駅 9番出口 徒歩3分 ・都営地下鉄 三田線「内幸町」駅 A7出口 徒歩3分

【参加方法】東京都高齢者福祉施設協議会のホームページにある「申し込みフォーム」よりお申し込みください。
※高齢者福祉、介護に興味や関心がある方はどなたでもご参加いただけます。
※5月19日(金曜日)までにお申し込み下さい。

【主催】(社福)東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会
【お問い合わせ先】(社福)東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当(都民フォーラム係) 電話:03-3268-7172

入場
無料

どなたでも
ご参加
いただけます

